

職員オススメ本 6月

「怪物に出会った日 井上尚弥と闘うということ」
森合 正範／著 講談社



“プロボクサー 井上尚弥 27戦全勝24KO”

世界で最も権威あるボクシング専門誌「ザ・リング」が格付けするパウンド・フォー・パウンドランキングで、日本人として初めて1位の評価を受け、バンタム級とスーパーバンタム級の2階級で4団体統一を果たした「怪物井上尚弥」の強さとは何か。

ボクシング世界王者井上尚弥選手(大橋ジム)と闘い敗れた挑戦者を取材し、怪物・井上尚弥の強さに迫り、拳を交えたボクサーたちが自らの人生を振り返りながら、彼らの人生がどう変わったのかを記した、第34回ミズノスポーツライター賞最優秀賞に輝いたスポーツノンフィクションです。



「わたしのぬいぐるみさん」
こやま こいこ／著 KADOKAWA



キャラクターやいろんな動物のものなど大小様々なぬいぐるみが世の中には存在していますが、皆さんにとってぬいぐるみはどんな存在ですか？小さい頃から一緒に家族同然だったり、大切な方からいただいた宝物だったりそれぞれ思いが違うのではないのでしょうか。

この本では、大切なぬいぐるみを丁寧にお直ししてくれる『ぬいぐるみ病院』に集まった、14の物語が紹介されています。



「クリームイエローの海と春キャベツのある家」
せやま 南天／著 朝日新聞出版



永井津麦は、新卒で五年間勤めた大手の商社を辞めて、三カ月前に家事代行の派遣会社に登録したばかりの新米スタッフ。新しく担当する依頼主は、五人の子どもを育てるシングルファーザーの織野朔也で、希望は週一回、掃除・料理・洗濯など。訪問すると、服、服、服。床一面大量の服が覆っていて、これまで担当してきた客と雰囲気の違い、津麦は戸惑うのであった。

家事代行を通して織野家と津麦が成長するお仕事小説です。